

第8回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和2年7月4日（土）※書面開催
- 2 参加者：前田委員長、益田副委員長、日下部委員、福田委員、加藤委員、善波委員、林委員、吉澤委員、杉山委員、菟澤委員
事務局：府川課長、森係長、岡崎主査
- 3 資料：
 - ・次第
 - ・資料1-1 令和元年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価（案）【修正版】
 - ・資料1-2 令和元年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価（案）に対する意見及び対応案
 - ・資料2 令和2年度小田原市市民活動応援補助金交付事業に係る実施状況等について（令和2年6月時点）
 - ・資料3-1 提案型協働事業（令和3年度分）の応募状況及び第2次審査実施方法について
 - ・資料3-2 小田原市行政提案型協働事業応募の手引き（令和3年度実施分）

4 会議内容

■ 議題（1）令和元年度提案型協働事業・市民活動応援補助金交付事業の実施結果について

【審議結果】

- ・各委員において各事業の報告書等を確認の上、事業実施団体等への質疑応答を書面で行い、その結果を踏まえて評価コメントを作成する。
- ・各委員の作成した評価コメントを事務局で取りまとめ、正副委員長による確認を経て事業実施団体等へ送付する。

■ 議題（2）おだわら市民交流センターUMECO第三者評価について（資料1-1、1-2）

【意見等】

- ・修正意見というよりは一つの提案として、最後の「まとめ」の部分に、今回の新型コロナウイルス感染拡大が市民活動にもたらした様々な影響、そして「新しい生活様式」を取り入れた今後の市民活動のあり方、コミュニケーション・ツールの最大限の活用など、現時点では誰もが手探りの状態ではあるが、それら対応策への引き続きの検討、共有が求められている点を付記してはどうか。

【評価結果】

- ・提案を反映させた上で、正副委員長の確認を経て確定させる。

■ 議題（3）市民活動応援補助金交付事業について（資料2）

【意見等】

- ・仮に準備等で一部執行したがイベント等を中止する場合の対応も考える必要がある。
- ・今後、さらなる変更の可能性もあり得ると思われるが、現時点での変更の可否については事務局案に異論はない。
- ・コロナ禍による高齢者対象のイベント中止による変更、辞退はやむを得ない。「わかがえるフェスタ」でイベントを中止し、情報誌を発行することを可とする場合、「家の外にも居場所を！」にも同様の変更が可となる旨を伝えた方がよい。
- ・今回のコロナ禍によって事業の見直しが行われることはやむを得ないものと考えている。事業の趣旨、目的そのものが反映されるのであれば、計画全体の中で大きくとらえて、当初予定事業の再編や見直しはある程度裁量の余地を残していただければと考えている。（今後の情勢が不透明な中では、年度終了時点までわからないため）
- ・「わかがえるフェスタ」の情報誌の発行への変更については、事業内容が全く異なるものであり、変更として取扱うにはふさわしくないものと考えている。当初予定の事業が実施できないのであれば、補助金の事業として実施することは不可と思われるので、必要に応じて、UMECOの補助事業への相談を促す等、対応を行ってはどうか。

【審議結果】

- ・事務局案をベースに、意見を踏まえて判断する。

■ 議題（４）提案型協働事業について（資料 3-1、3-2）

【意見等】

- ・市民提案型協働事業の新規応募件数が 0 件、行政提案型協働事業も地域政策課の 1 件というのは、残念に思う。行政内の周知を徹底していただきたい。

【審議結果】

- ・事務局案のとおりとする。